

YMS-08B ドム試作実験機

アナハイム・エレクトロニクス社が保有する、ジオン公国軍のモビルスーツ開発資料から興味をかき立てられる記録画像が発見された。この画像の入手元はジオン公国で軍需産業の中核グループをなしていたツィマット社で、被写体は同社の実験機と推測されるが、実に奇妙な機体構成になっている。頭部や脚部はドムタイプだが、上半身はザクでコックピット・ブロックはグフ。まるでツィマット社とジオニック社のミックスにも見える実験機に関して、ツィマット社に所属していた元スタッフから証言が得られた。

「ツィマット社はMS-09 ドムを開発するまでに、実験機をいくつか作っていました。その内の一機が、撮影されたYMS-08B ドム試作実験機です。モビルスーツ開発の技術基盤はジオニック社やジオン軍の研究機関から得られたデータをベースにしていたから、初期の実験機ではザクやグフのパーツを転用するケースが多かったです」
発見された画像で注目すべき点は、YMS-08Bには地上戦用と宇宙仕様の2タイプが存在していたところだろう。スペースコロニー内施設で機動試験を実施している画像もあれば、別の画像ではサイド3宙域でビーム・バズーカの射撃試験も行っている。

「MS-09 ドムを改修して宇宙仕様のMS-09R リック・ドムが誕生したのは皆さんもご存知のとおりです。しかし、地上戦用に設計されたモビルスーツを宇宙仕様へ転換するのは容易ではありません。それを短期間で実現できたのは、2種のYMS-08B型の存在があったからこそと言えるでしょう」
※画像はイメージです。



GIMMICK & DETAIL ギミック&ディテール



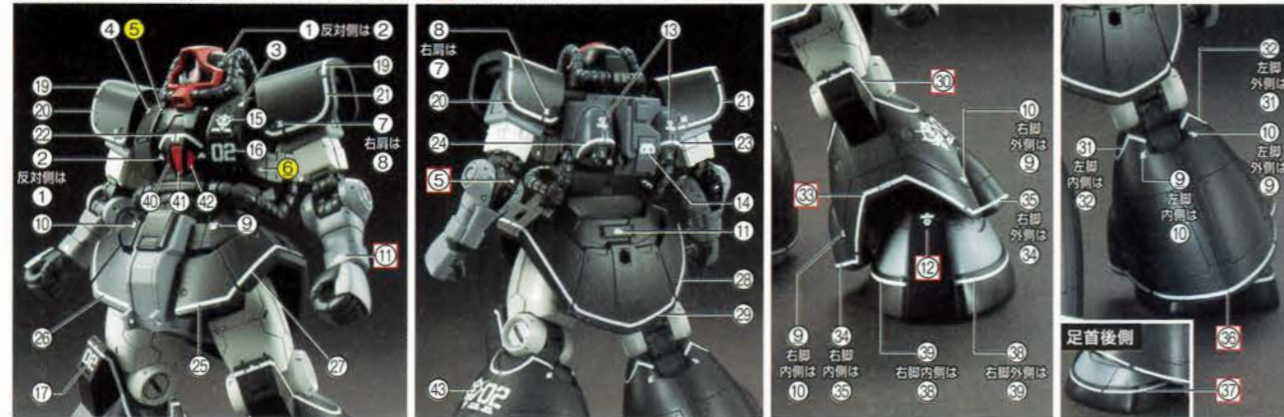
REAR VIEW リアビュー



FRONT VIEW フロントビュー



MARKING



①～③⑩の番号はマーキングシールの番号です。□両腕、両脚または両肩とも同様に貼ります。●反対側も同様に貼ります。※余ったマーキングシールはお好みで自由にお貼りください。マーキングシールの余白部分をカットして貼るとよりリアルになります。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、こちらの基本色をご覧ください。※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

本体等: グレー(70%) +ブラック(30%)	胸部等: ブラック(100%)	腕部等: ニュートラルグレー(60%) +ホワイト(40%)	脚部等: ホワイト(100%) +ライトブラウン(少量)	頭部、ヒート・サーベル等: モンザレッド(50%) +オレンジイエロー(30%) +ホワイト(20%) +グレー(少量)
ランドセル等: グレー(90%) +ホワイト(20%) +カーキグリーン(10%)	手首、関節等: グレー(90%) +ブラック(10%)	武器等: グレー(70%) +ブルーグレー(30%)	胸部コックピット: クリアレッド(100%)	ビーム・バズーカスコープ: 下地にシルバー(100%) +クリア(60%) +クリアレッド(40%) +ホワイト(少量)

●ここに掲載している情報は2016年2月現在のものです。

© 創通・サンライズ

HG
GUNDAM THE ORIGIN
1/144 SCALE

機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
MSD
MOBILE SUIT DISCOVERY

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の自己負担となります。



YMS-08B DOM TEST TYPE

PRINCIPALITY OF ZEON PROTOTYPE MOBILE SUIT

HG 1/144 「ドム試作実験機」

●画像の完成品は塗装してあります。●この商品には、HG 1/144 ドム試作実験機 が1体のみ入っています。
●画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。

BANDAI 2016 MADE IN JAPAN

0203226



警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

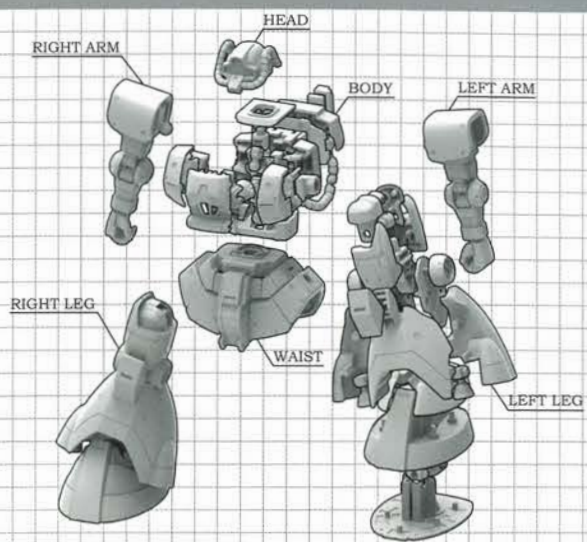
- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意(ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。
- 窒息する恐れがあります。

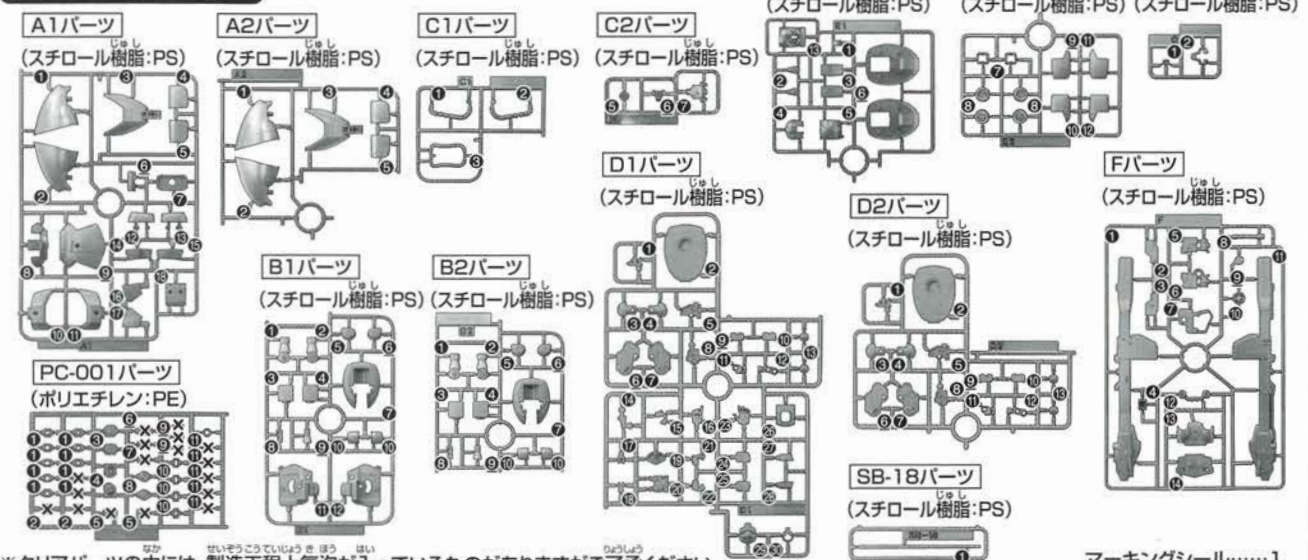
組み立てる時の注意

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには充分ご注意ください。



PARTS LIST

※×印は使用しないパーツです。



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

各部品は、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。

はさみ込むパーツの入れ忘れに注意!

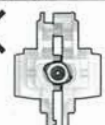
ポリキャップのすれ、曲がり要注意!



説明書をよく見て、はさみ込むパーツを確認してください。
Point はさみ込む位置もよく確認しましょう。



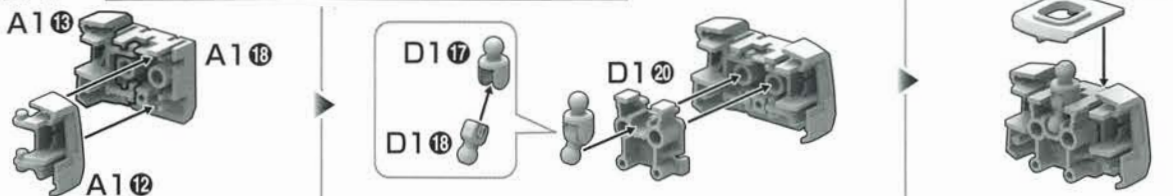
PC部品は軟質素材のため、つぶさないようまっすぐ取り付けましょう。



※組立図中に登場するアイコンは欄外に説明があります。

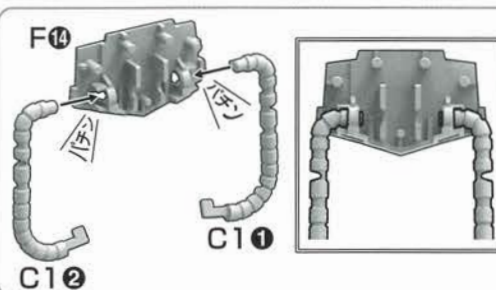
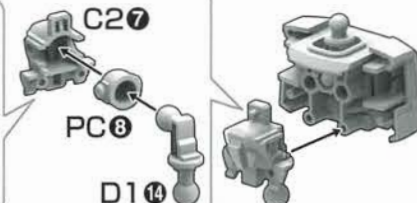
BODY

※BODYは「地上戦用」と「宇宙仕様」から選んで組み立てます。

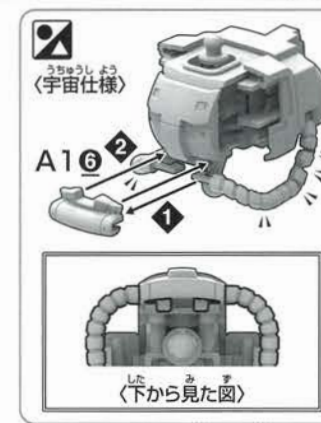
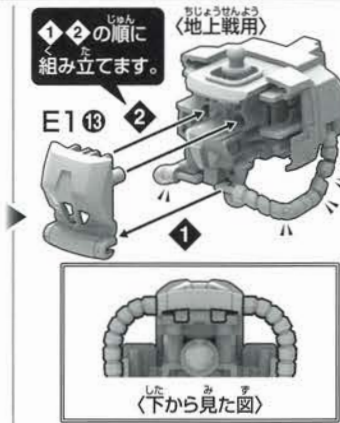
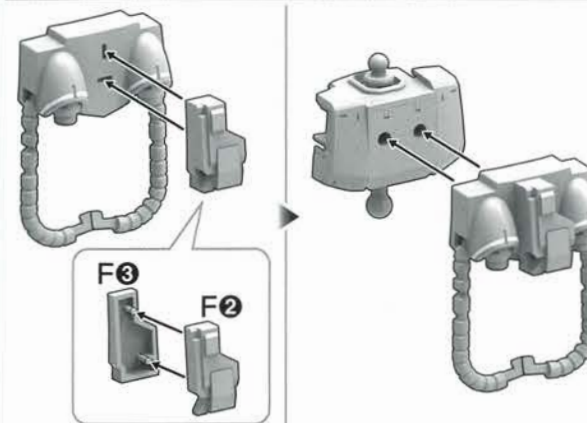
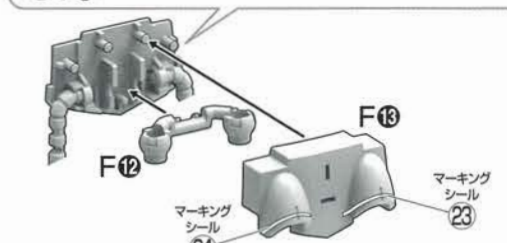
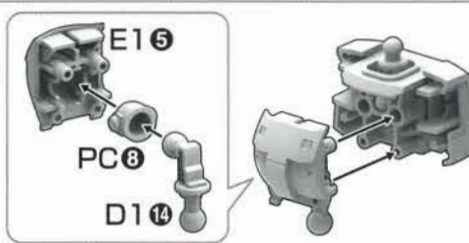


地上戦用

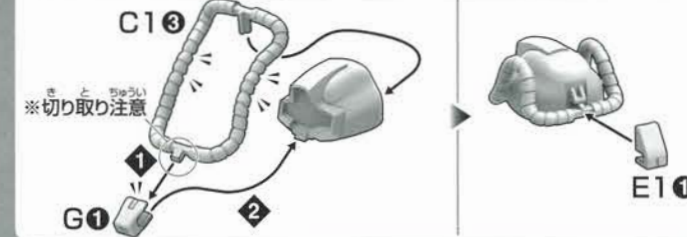
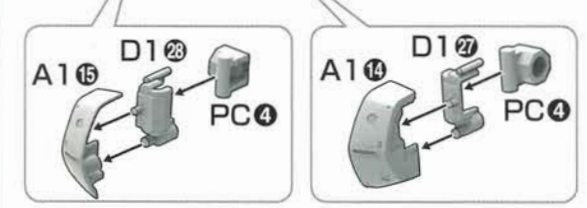
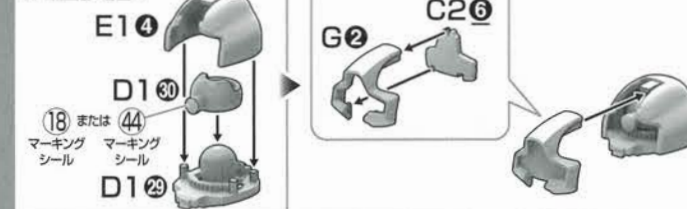
※マーキングシールの貼り位置は、表面のシール指示を参照ください。



宇宙仕様



HEAD



WAIST

B112 PC8 D110
PC11 B111
A117 A116
A118 A110 A110

LEFT LEG

D116 D115 D117
PC1 D113
D114 PC1
E210
E209

ARM

D111 (D211) D110 (D210)
PC1
D110 (D210) D112 (D212)
B114 (B214)
B113 (B213) B118 (B218)
E217
※切り取り注意 (両側)
B112 (B212) B111 (B211)
B116 (B216) B115 (B215)

LEFT LEG

A111 PC3
PC10 D113
A112 PC10
D113
E213
A113
E218 E218
FOOT

LEFT ARM

A114 (A214) A116 (A216)
E112
B119 (B219)

LEFT ARM

D112 D115 B110
LEFT HAND
A
D112 B110

RIGHT ARM

180°
ARM
B210 D114 D114

RIGHT LEG

D216 D217
D216 D217
PC1 D214
PC1 D214
D213
E212
E211

RIGHT LEG

A211 PC3
PC10 D213
A212 PC10
D213
E218 E218
A213 E113
FOOT

FOOT

D118 (D218) PC1
D112 (D212)
E116
B117 (B217)
FOOT

YMS-08B DOM TEST TYPE

ドム試作実験機

宇宙世紀に覚醒した巨人「モビルスーツ」は、独立戦争を控えたジオン公国の工廠で次々と生み出されていた。ジオン公国軍は、地球連邦軍との歴然たる兵力差を少しでも埋めようと国内の主要企業へ生産力の拡大を要求していた。特にキシリア少将が率いる突撃機動軍からの要請は切実であった。地球進攻を控えた突撃機動軍にとって、尖兵となる地上戦用モビルスーツは供給面でもまだまだ十分とは言えなかったからである。国内企業のひとつであったツィマト社は、推進機関の開発で高い技術力を誇り、ジオニック社からザク、グフの委託生産を引き受けるのと併行して、モビルスーツの自社開発に着手する。突撃機動軍がザクをしごく機動性能を備えた新型モビルスーツの必要性を強調していたこともあり、ツィマト社は軽量化された機体に研究中のスラスターを搭載したYMS-08Aを試作する。YMS-08Aは短距離の

飛行ないし跳躍で、重力下での機動力向上を目指していたが、スラスターの出力不足に悩まされ、開発競争でジオニック社のグフに敗退する。この結果を受けてツィマト社は、地上戦用モビルスーツの開発コンセプトを転換することになる。軽量化から重装甲化へとシフトし、ザク、グフでも常に指摘されていた機動力不足を解消した実験用モビルスーツ。それがYMS-08B、後に「ドム試作実験機」と呼ばれた機体である。YMS-08Bは十字型モノアイ、ヒート・サーベル、熱ジェットエンジンによるホバー推進など、のちのドム系モビルスーツの特徴とも呼べる装備が確認できる。YMS-08AとYMS-08Bでの実験を完了したツィマト社は、得られたデータを元にYMS-09 プロトタイプドムの開発に着手していく。



ビーム・バズーカ

それまで戦艦に搭載されていたメガ粒子砲を小型化し、モビルスーツに装備させる案はジオン公国軍でも検討されていた。ビーム・バズーカは小型化の成功例ではあったものの、連射性能に難があった。そのためモビルスーツへの標準装備は地球連邦軍に先んじられてしまった。



ヘッド・ユニット

YMS-08Bの頭部は十字型のモノアイとダクト、動力パイプで構成される。MS-07C-5 グフ試作実験機と共通で、前方視界をメインカメラのモノアイで、後方はサブカメラやセンサーで確保する。MS-09ドムの頭部ではダクトと動力パイプが排除された。

ボディ・ユニット

ジオニック社から委託生産を請け負っていたツィマト社は、実験機のボディにザクのデータを転用していた。YMS-08Bは腕部にザク、コックピットにグフのデータが使われている。



ランドセル

YMS-08Bの背面は浮上した機体を推進させるスラスター2基に、ヒート・サーベル用のマウントラッチが確認できる。ランドセルはザクと同様に動力パイプで腹部側とつながっている。

ヒート・サーベル

ドムタイプのモビルスーツが装備する近接戦闘用武器。ザクのヒート・ホークと原理は同じで、長い刀身を赤熱化させて対象を溶断する。ランドセルのマウントラッチに取り付けることができる。

脚部スラスター

熱ジェットエンジンを搭載し、足裏から地面へ圧縮空気を送り込むことで浮上・推進するホバー走行を行う。脚部の容積はザクよりも増大し、それを覆う装甲はフレアー形となり、ドムタイプの特徴になっている。



SPEC

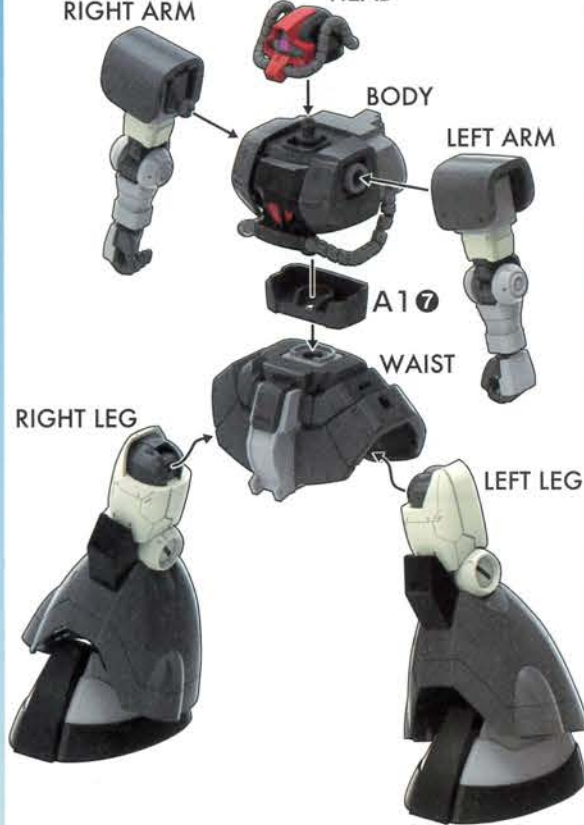
型式番号：YMS-08B
全高：約18.0m
武装：ビーム・バズーカ
ヒート・サーベル

ドム試作実験機 (宇宙仕様)

YMS-08Bは後に宇宙仕様も製作されている。地上テストで使用していたYMS-07系の胸部コックピットを、宇宙での運用のためにザクタイプに換装された他は大きな変更はない。サイド3宙域で機動試験のほか、ビーム・バズーカの射撃試験も行われている。

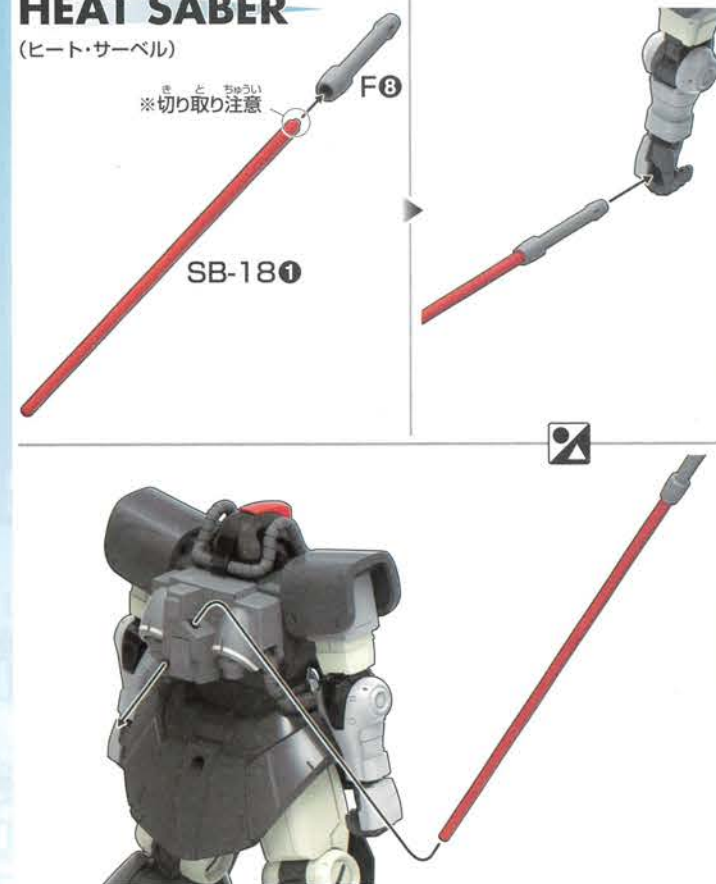
※一部の画像はバンダイプラモシリカアクションベース2(別売り)を使用しています。 ※データは劇中の設定です。

RIGHT ARM HEAD



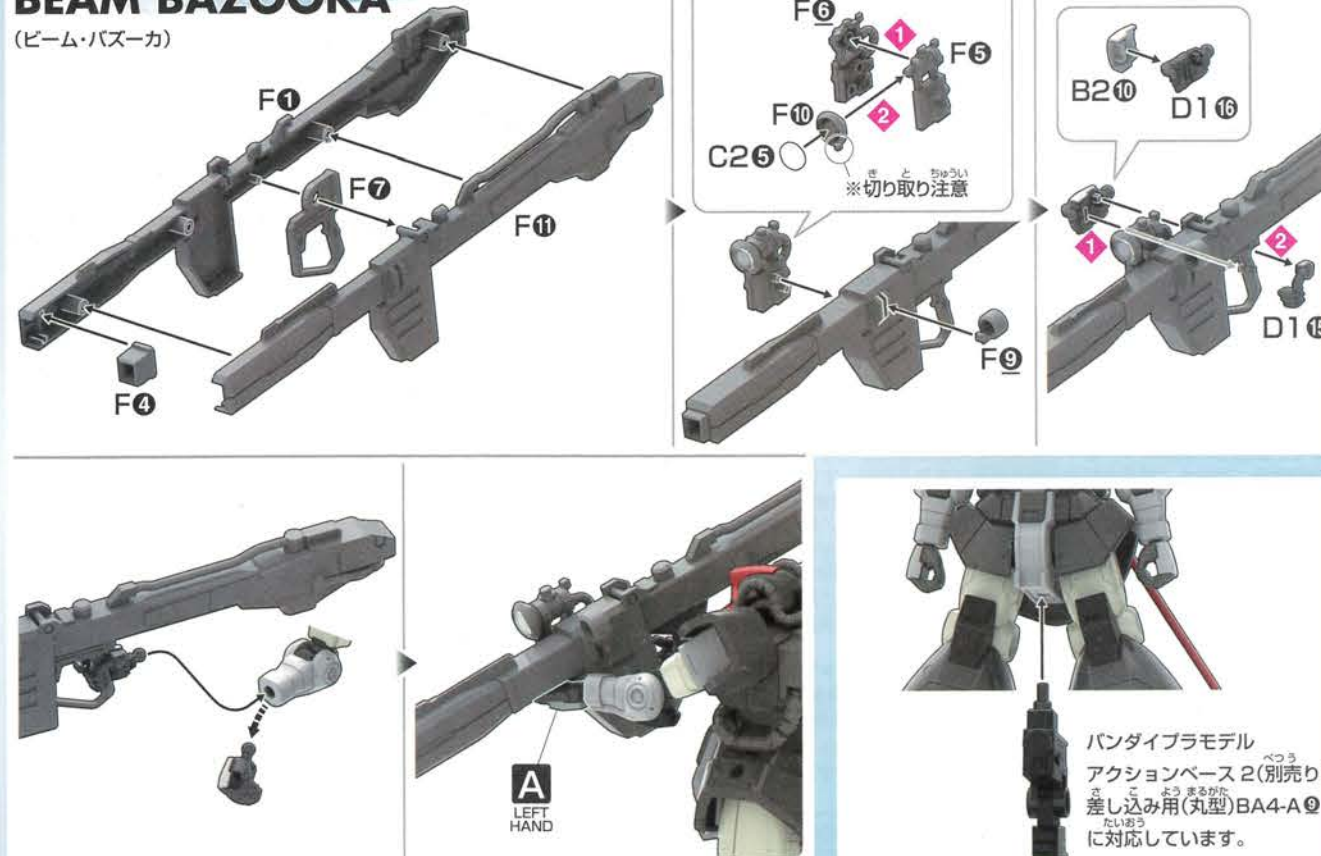
HEAT SABER

(ヒート・サーベル)



BEAM BAZOOKA

(ビーム・バズーカ)



バンダイプラモシリカ
アクションベース2(別売り)
差し込み用(丸型)BA4-A9
に対応しています。

※相立図中の記号説明
どちらかを選んで取り付けます
A 別の取り付けでも使えます